

事務事業名 筑紫地区救急医療対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：335

施策：	16	健康づくりの推進	財務コード	01040101-02-281
基本事業：	04	健康を支える環境の整備	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	健康づくりサポーターの年間活動回数 救急医療で対応している科目数		担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
筑紫地区住民等		運営主体 筑紫地区5市 受託機関 一般社団法人筑紫医師会 「病院群輪番制」 実施時間 (1)日曜、祝日、8月13～15日、年末年始の9時～17時まで (2)休日、平日の17時から翌9時まで 実施内容 救急を要する患者で病（医）院での診療 (1)休日の昼間(在宅当番医制)...内科、外科(各2箇所)、産婦人科(1箇所) R6.10.1より産婦人科中止 (2)休日及び平日夜間(病院群輪番制:筑紫管内9病院)...内科、外科(2箇所) 「小児救急」 実施時間 (1)休日、年末年始 9時～21時30分(受付終了21時) (2)月～土曜 17時～21時30分(受付終了21時) 診療実施日 月、水、金曜 ...福大筑紫病院 火、木、土、日曜...福岡徳洲会病院				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		「病院群輪番制」...住民の救急医療を確保するため、筑紫地区5市と筑紫医師会に属する病（医）院が一体となって、救急医療体制を整備する。 「小児救急」...休日及び夜間における小児救急診療を確保するため、福岡大学筑紫病院と福岡徳洲会病院が輪番により、小児救急医療体制をとっている。				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
病院群輪番制受診者数（筑紫地区住民）	人	31,184	31,426	33,000	33,000			33,000
小児救急受診者数（筑紫地区住民）	人	9,024	7,893	8,000	8,000			8,000

5. コスト								
事業費	計	千円	20,755	20,659	20,606	20,555		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	1,844	1,844	1,823	1,826		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	18,911	18,815	18,783	18,729		
正職員人工数	人工		0.3	0.3	0.2	0.2		
正職員人件費	千円		2,345	2,407	1,676			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		23,100	23,066	22,282	20,555		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況> 令和5年度より、病院群輪番制受診者数が約240人増加し、小児救急受診者数が約千人減少している。 <現状> 新型コロナウイルス感染症の感染状況の収束及び感染法上の5類への位置付けによるものが考えられる。 <課題> 令和2年4月1日より、小児科医の減少、医師の働き方改革により、小児救急は1.5時間の診療時間短縮となった。コンビニ受診による増加が懸念されており、医師の負担を軽減するため、医療機関の適正受診が求められている。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
筑紫地区救急医療対策事業は昭和54年度から、小児救急医療対策事業は平成16年度から筑紫地区5市共同で開始した事業である。	